



# かぞ 市議会だより

発行日／平成28年11月15日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<http://www.city.kazo.lg.jp/>

●第29号●



目次

第3回定例会のあらまし…………… P 2～3  
 市政に対する一般質問…………… P 6～11  
 議案等の審議結果…………… P 12～13  
 委員会の審議内容…………… P 14～15

議案に対する質疑…………… P 4～5  
 議案等に対する討論…………… P 11  
 議会傍聴のご案内…………… P 13  
 議員活動紹介…………… P 16

観賞米 (上) 原道小学校児童による「KAZO」の文字とクライマーの装飾

(下) 大越幼稚園児・小学校児童による「こののぼり」の絵 市民カメラマン 齊藤 啓助さん撮影

## 第3回 定例会の あらまし

平成28年第3回定例会は、9月1日から10月3日までの33日間の会期で開催しました。

今定例会におきましては、平成27年度一般会計決算をはじめとした市長提出議案27件を審査し、12件を原案可決、2件を原案可決及び認定、12件を認定、1件を承認としました。

また、提出された1件の請願を不採択としました。

なお、詳細につきましては12ページ及び13ページをご覧ください。

### 平成27年度加須市一般会計決算額

歳入	417億2,453万円（前年度比3.6%増）
歳出	377億8,668万円（前年度比1.9%増）
差引	39億3,786万円

### 平成27年度一般会計の主な歳入

区 分	歳入額	構成比
市 税	150億5,716万円（131,985円）	36.1%
地 方 交 付 税	67億8,748万円（59,497円）	16.3%
国 庫 支 出 金	47億2,860万円（41,449円）	11.3%
繰 越 金	31億7,492万円（27,830円）	7.6%
県 支 出 金	26億2,154万円（22,980円）	6.3%
市 債	23億5,805万円（20,670円）	5.7%
諸 収 入	12億1,874万円（10,683円）	2.9%

### 平成27年度一般会計の使いみち（歳出）

#### 民生費



137億7,616万円  
(120,757円)

#### 総務費



55億2,312万円  
(48,414円)

#### 教育費



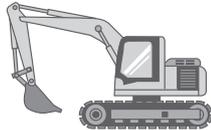
46億5,139万円  
(40,772円)

#### 公債費



35億8,199万円  
(31,398円)

#### 土木費



33億5,885万円  
(29,442円)

#### 衛生費



27億2,467万円  
(23,884円)

#### 消防費



16億3,421万円  
(14,325円)

#### 農林水産業費



13億6,171万円  
(11,936円)

#### その他（商工費・議会費など）



11億7,457万円  
(10,296円)

※（ ）内の数字は、市民1人当たりの金額です。H28.3.31現在 住民基本台帳人口114,082人  
※単位未満は四捨五入です。

# 平成27年度一般会計決算等認定

## 平成27年度特別会計・企業会計決算額一覧表

会 計 名			歳出決算額	会計名			歳出決算額
住宅新築資金等貸付事業			227万円	国民健康保険事業			149億1,068万円
国民健康保険直営診療所			1億 396万円	後期高齢者医療			9億1,716万円
介護保険事業			70億2,395万円	農業集落排水事業			6億4,600万円
不動岡土地区画整理事業			250万円	三保第二土地区画整理事業			6,123万円
野中土地区画整理事業			2億2,418万円	栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業			6,260万円
河野博士育英事業			1,640万円				
水道事業	収益的収支	収入	28億2,818万円	下水道事業	収益的収支	収入	18億1,551万円
		支出	25億5,829万円			支出	17億2,105万円
	資本的収支	収入	3億3,055万円		資本的収支	収入	12億2,680万円
		支出	11億 549万円			支出	16億9,164万円

※単位未満は四捨五入です。

※企業会計は、経営活動に伴い発生する収益的収支と、将来の経営活動のために行う借入れや施設建設などの資本的収支に区分されます。

主な議案等の一部を紹介します。

### 一般会計補正予算 (第3号)

・公共施設等再整備基金事業 (3億円)

公共施設等の建替え又は改修等に充てるため、基金に積み立てる経費です。

・担い手育成支援事業 (1836万5千円)

国の「産地パワーアップ事業」を活用して、市内の農業団体が、米産地としての競争力強化に向けたコスト削減や、品質向上等に必要施設の整備を図るための補助金を措置するものです。

・予防接種事業 (885万8千円)

B型肝炎ワクチンの予防接種が、本年10月から定期化されたことに伴い、接種費用を全額公費負担するための経費等です。

・介護施設整備促進事業 (174万7千円)

介護従事者の負担軽減を図るため、介護ロボット(介護用補装具)を導入する市内の2つの介護保険サービスの事業所に対し、国の交付金を活用して補助金を措置するものです。

### 国民健康保険事業 特別会計補正予算 (第1号)

◇国民健康保険一般管理事業 (359万5千円)

平成30年度から国民健康保険が広域化されることに伴い、全額国庫補助金により、本市の国保システムの改修に要する経費等を措置するものです。



### 条 例

◇加須市文化・学習センター条例の一部を改正する条例

加須市騎西文化・学習センターの多目的室の利用区分を区分貸しから全面貸しとし、一時間当たりの使用料を改めるものです。

	利用区分	使用料
改正前	多目的室 1	200 円
	多目的室 2	500 円
	多目的室 3	300 円
改正後	多目的室	700 円

◇栃木市との公共施設の相互利用の実施に伴う関係条例の整理に関する条例

「関東どまんなかサミット会議」に栃木市が本年5月に加入したことにより、10月から公共施設の相互利用の対象に加えるものです。

本市と茨城県古河市、

栃木県栃木市、野木町、

群馬県板倉町の住民は、

相互利用対象施設を当該市町の住民と同条件で利用することができます。

### 工事請負契約の締結

◇加須市騎西総合支所庁舎改修工事

・請負金額

3億4538万4千円

・請負業者

丸和工業株式会社加須支店

◇加須市騎西総合支所庁舎改修機械設備工事

・請負金額

1億5859万8千円

・請負業者

株式会社加藤工業

### 請 願

所得税法第56条の廃止を求める請願

(不採択)

# 私たちが慎重に チェック

## 可決された 主要な議案と 疑質

### 加須市農業委員会の委員 及び農地利用最適化推進 委員の定数を定める条例

**議員** 農業委員の定数15人及び農地利用最適化推進委員の定数22人の根拠について、お伺いします。

**経済部長兼農業委員会事務局長**

農業委員は、基準農業者数や農地面積要件などから本市の法令上の定数の上限は19人となっております。定数の上限内において、これまでの農業委員の役割が農業委員と農地利用最適化推進委員の2つの区分の委員に分担され、連携をとる中で、機動的にその機能が果たされなければならないものであることや農業委員においては認定農業者が過半数以上を占め、年齢、性別等に著しい偏りが無いよう配慮しなければならぬことから、15人としたものです。

また、農地利用最適化推進委員は、これまでの農業委員の役割・機能を新たに任命す

る農業委員と分担することや、農業委員会から担当地区をもつて委嘱されることから、農地の利用集積事務にかかわりの深い「人・農地プラン」の7つの地区割りや地域自治活動の単位として生かされている20の旧町村区数などを考慮した上で、農業委員会の意見を伺うなどし、一人当たりの担当する農地面積が著しく多くなる2地区について定員を1人ずつ増員して定数を22人としたものです。

農業委員・農地利用最適化推進委員の定数

	現行	改正後
農業委員	36	15
農地利用最適化推進委員	-	22

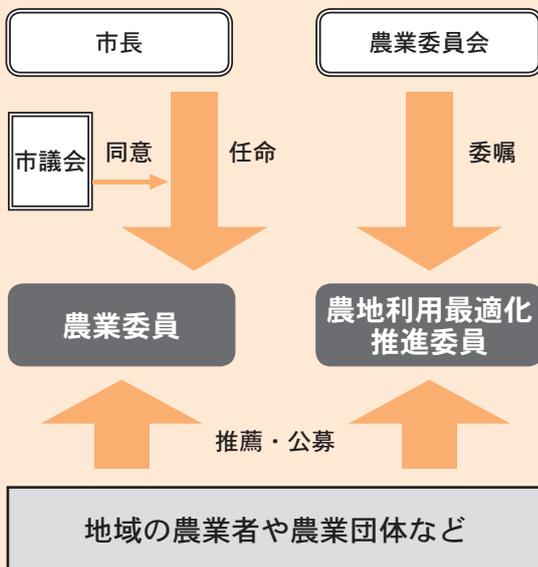
**議員** 農業委員の選出が公選制から任命制に変わりますが、引き続き農業委員会が農業者の代表機関として、役割を發揮できるよう委員の任命に当たっての考えをお伺いします。

**市長** この条例により、地域の農業をリードする担い手をはじめとする方々が、透明なプロセスを経て任命され、実践的な意見をもって、知恵を出し合い、農業委員会の使命として農地等の利用の最適化

の推進など農業が直面している課題の解決を図り、地域農業の振興につなげていくということを期待しております。農業委員の任命等に関しては、透明性、公平性を十分念頭に置きながら、適切な事務執行が行えるよう努力していきたいと考えております。



### 農業委員、農地利用最適化推進委員の選任の流れ



## 加須市総合振興計画 基本構想の改訂について

### 《市民の意見集約について》

**議員** 市民との協働を市政運営の基本姿勢としていますが、市民の意見集約の経緯についてお伺いします。

**総合政策部長** 平成26年度に市民意識調査の実施や市政についての話し合いのテーマを「望ましい加須市の未来について」とし、市内20カ所で開催し市民の皆様から意見・要望の聴取を行いました。

平成27年度には、若者の進学、就職などの希望に関する調査を実施し、人口推計や計画の策定に反映しました。

また、各地域を巡回する形でそれぞれテーマを設けて市民会議を合計4回開催したほか、加須市総合振興計画審議会及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議を合計6回開催し、様々な立場の皆様から活発な論議をいただきました。

さらに、今年の7月には、改訂案に対するパブリックコメントを実施いたしました。これらの機会を通じていただいた意見を可能な限り反映しました。



市政についての話し合い

### 《財政の見直しについて》

**議員** 総額規模が大きくなっていますが、歳入歳出総額の内容についてお伺いします。

**総合政策部長** 歳入歳出ともに平成23年度から27年度までの決算額をもとに伸び率などを勘案し、さらに今後見込まれる事業費を推計したものです。

歳出は、改訂前の推計時には無かった臨時福祉給付金などの特殊要因を除き、社会保障費等の伸び率を反映させた結果、総額規模が大きくなったものです。歳入は、新たな工業団地の造成による固定資産税等の増収、地方消費税交付金については平成31年度からの消費税率10%を見込み推計したものです。

### 《人口減少について》

**議員** 人口減少に対する考え方をお伺いします。

**市長** 様々な分野ごとに市政運営のなかでレベルアップを図り、加須市に住みたいというまちづくりをすすめていくことが基本的なスタンスであり、この考え方で市政を運営していきたいと考えております。今回の改訂では、基本

的な部分はずえにそれぞれの地域が元気になるという観点からその方向をさらに押し上げる、そういう意味で土地利用の見直しや、病院の誘致または医療体制の確保など、今の本市に欠けている部分を補填することで、人口減少等の課題の解決に結びつくと考えております。

## 基本構想改訂の概要

### (1) 人口推計の見直し

少子化・長寿化の進展に伴い、今後も人口減少が加速度的に進むと予想されることから、昨年度策定した人口ビジョンに基づき見直しを行う。

〔改訂内容〕平成32年における人口

	改訂後	改訂前
推計人口	10万9,000人	11万6,000人
目標人口	10万9,000人	12万人

### (2) 財政推計の見直し

過去5年間の決算に基づき、財政推計について見直しを行う。

〔改訂後の普通会計の推計〕

(単位: 億円)

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
歳入	410.2	401.6	396.2	381.5	378.6
歳出	372.7	361.2	366.8	358.3	355.3

### (3) 土地利用構想の見直し

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が県内全線で開通したことや地域住民からの要望等を踏まえ、本市の地域特性を活かした秩序ある整備と発展を推進するため、土地利用構想について見直しを行う。

〔主な改訂内容〕

加須インターチェンジ周辺(農業共生ゾーン ⇒ 工業・産業系ゾーン)

### (4) まちづくりの施策の見直し

地域医療支援病院である公的医療機関の誘致や医師及び看護師の確保による地域医療体制の充実など、新たな課題に対応していくため、まちづくりの施策について見直しを行う。



# ここが聞きたい! 市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に7~11ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧頂くことができます。

## 一般質問事項（質問順）

- 1 **酒巻ふみ議員（無所属）**
  - 2020東京オリンピックの競技種目にスポーツクライミングが決定したことからかわる諸問題について
  - 農業放棄地の増加について
  - 子育て支援について
  - 市民の生命を守るためにカスミ出店に伴う周辺道路の整備について
- 2 **森本寿子議員（公明党）**
  - 集中豪雨等による浸水被害の軽減を図る取り組みについて
  - 投票率アップに向けての対策について
  - 安心・安全のまちづくりについて
  - 観光案内所の充実とまちおこしについて
- 3 **大内清心議員（公明党）**
  - 加須市における英語教育について
- 4 **竹内政雄議員（創政会）**
  - 災害対策について
  - 次期学習指導要領のまとめ案について
- 5 **齋藤和雄議員（新政会）**
  - 高齢化社会の諸課題について
  - 企業誘致について
  - 道路整備について
  - リサイクル事業について
- 6 **池田年美議員（公明党）**
  - 犬猫殺処分ゼロを目指して
  - 加須市のスポーツ観光について
- 7 **田中良夫議員（創政会）**
  - 栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業について
  - 洪水災害を想定した平時の対策について
- 8 **野中芳子議員（民進党）**
  - 駅前環境整備について
  - 道の駅きたかわべについて
  - 看護師の育成事業について
- 9 **小林信雄議員（民進党）**
  - 都市農業の振興について
  - 加須市民体育館及び野球場施設の現状と今後について
  - 公共施設の利用許可証について
- 10 **小林利一議員（創政会）**
  - 加須市における英語教育について
- 11 **中條恵子議員（公明党）**
  - スポーツクライミングの東京五輪の誘致について
  - 認知症見守りについての市の対策について
  - 教育施設における暑さ対策について
  - プログラミング教育について
  - ふれあいサロンの充実について
- 12 **及川和子議員（日本共産党）**
  - 防災対策について
  - コミュニティバスの運行改善について
  - 埼玉大橋の安全対策について
- 13 **松本英子議員（日本共産党）**
  - 福祉避難所の整備について
  - 基幹排水路の整備について
  - 訪問入浴サービスについて
- 14 **柿沼秀雄議員（新政会）**
  - 人材育成について
  - 加須市総合振興計画について
  - 3県境の現状と今後の取り組みについて
  - スポーツ施設の整備について
- 15 **鈴木久才議員（創政会）**
  - 総合型スポーツクラブの支援について
  - スケートパーク設置の進捗状況
  - 運動公園野球場及び周辺整備と体育施設活用とまちの活性化について
  - 不老荘の運営について
- 16 **佐伯由恵議員（日本共産党）**
  - 水道管の洗管事業について
  - 障がい者福祉の推進について
  - 子どもの貧困対策について
  - 雇用促進住宅について
- 17 **小坂徳蔵議員（日本共産党）**
  - 医療対策について
  - 社会で支える介護保険について
  - 教師の多忙解消について
  - 追認議案の再発防止について



# 災害対策

## 集中豪雨等による浸水被害の軽減を図る取組みについて

答弁: 浸水家屋の発生をゼロにすること、道路の冠水時間を縮減することを目標に取り組んでおります。

大内 清心 議員

大内 近年、集中豪雨等による浸水被害が増えております。大雨による冠水、浸水などの被害を未然に防ぐため、誰でも自由に土のうが取り出せる「土のうステーション」や、止水シートとも言われるビニール製の土のうで運搬や設置が容易な「ウォータージェット」の設置について、地域の防災力の向上を図るためにも必要であると考えます。集中豪雨等による浸水被害の軽減を図る取組みについての考えをお伺いします。

市長

市長 浸水被害の軽減を図るための基本的な考え方として、浸水家屋の発生をゼロにすること、道路の冠水時間を縮減することを目標に、土地改良区や県と連携をとりながら、排水路や堰の管理を適切に行ってまいります。ご提案いただきました「土のうステーション」や「ウォータージェット」につきましても、積極的に市民の皆様へ情報提供していくとともに、市民レベルでの浸水対策についての取組みもお願いできればと思っております。

# 災害対策

## 災害時の「タイムライン」の取組みは

答弁: 「タイムライン」に基づき行動することで、職員の的確な対応がこれからさらに向上していくものと考えております。

竹内 政雄 議員

竹内 利根川と渡良瀬川を抱える本市は、想定される災害の発生前から事後の対応まで自治体が時間軸に沿って関係機関との行動計画を決めておく「タイムライン」を県内の市町村でいち早く導入をしておりますが、災害対策における「タイムライン」への取組みについてお伺いします。

市長

市長 本市においての災害対策は、地形的な条件により、震災以上に水害について対策をきちんと考えていく必要があります。「タイムライン」については、これまでと同じような対応策はとっておりませんが、それを系統的かつ時系列的に行うことで災害対応状況が一覧として分かるものであります。これにより職員自身が通常業務を行いながら、的確に対応できる非常に有効な方策であります。具体的なそれぞれの対策については、改善するところは改善することも大事と思っております。最終的には市民の皆様が、どのような自然状況にあっても安心して住むことができる地域づくりを進めていきたいと考えております。

# 耕作放棄地対策

## 農業放棄地の増加について

答弁: 農業就業人口が大きく減少していく中、耕作放棄地を増やさないためにも、(株)かぞ農業公社において、多くの受託作業や農地の利用集積を引き受けられるよう側面からの支援をまいります。

酒巻 ふみ 議員

酒巻 十分な保全管理がされていない耕作放棄地が増えてきている現状の中で、その要因にはどのようなものがあるのか、また農家人口の推移と(株)かぞ農業公社の今後の取組みについての考えをお伺いします。

局長

局長 農地が耕作放棄地となつている要因は、農業従事者の高齢化や後継者不足により、耕作の継続が困難となり、農業の縮小や経営をやめてしまう農家が増え、農地の保全ができないことや、農地の貸し出しができませんなどがあげられます。農家人口につきましては、2015年に実施した農林業センサスによると販売農家の農業就業人口は、5年前に比べ15%の減、さらに10年前に比べると36.9%の減と大きく減少しております。このような状況の中で、(株)かぞ農業公社は、農地の有効活用を促進し、良好な農地を次代に引き継ぐための支援を目的として設立されました。今後も、耕作放棄地を増やさないために、できるだけ多くの受託作業や農地の利用集積を引き受けられるよう側面からの支援をまいります。

# 子育て支援

## 「子ども食堂」開設希望者に対する支援についての考えは

答弁: 相談を受けた時点での内容により、支援の可否も含めて、設置をお考えの方と相談させていただきたいと考えております。

森本 寿子 議員

森本 放課後の子ども居場所に不安感を感じている親は依然として多く、子どもと子育て家庭を支援する総合的な取組みが必要です。2012年頃都内で始まったとされる「子ども食堂」は、一人で食事をする孤食の改善や経済的な理由で十分食べられない子どもにも栄養バランスのとれた食事を提供する狙いがあります。

子ども局長

子ども局長 現在「子ども食堂」の設置に向けた支援についての具体的な相談は受けておりませんが、どのような支援を希望されるのか分からない状況です。従って、相談を受けた時点での内容により、その支援の可否も含めて、子ども食堂の設置をお考えの方と相談させていただきたいと思っております。基本的にはその設置主体が自主的に活動すべきものと考えておりますが、一方、子どもの居場所づくりという観点もありますので、状況を見守るとともに情報の収集をしていきたいと考えております。

## 洪水災害対策

### 洪水災害を想定した平時の対策についての考えは

答弁: 全体としての水害対策については、利根川周辺をまず重点的に考え、実際に活用できる防災対策を講じてまいりたいと考えております。

**田中 良夫 議員**  
田中 大利根東地区は多くの住民が集中しています。利根川の氾濫時には、大利根東小学校が避難所に指定されており、十分に活用できない現状にあり、また、カスリーン台風の洪水時に浸水がなかった東ヶ丘の市有地は東地区にある唯一の高台でもあることから、飲料水等の物資及び災害用資材の備蓄倉庫をこの市有地に建設してはどうかお伺いします。

市長 水害対策につきましても、県内はもとより県外の広域避難もこれからより具体的にしていける必要があります。現在、周辺自治体とも災害協定を結んでおります。ご提案の東ヶ丘への備蓄倉庫の建設についてですが、今年、東地区で行われた水害訓練時に立ち合わせたい、場所についても十分承知しております。今すぐどうするかということはお答えできませんが、水害対策全体としては、まず利根川周辺を重点的に考えていく必要があると思っております。これからはさらに中身の濃い、実際に活用できる防災対策を講じてまいりたいと考えております。

## 駅前整備

### 利用者の立場で駅前の環境整備を

答弁: 加須駅南口及び花崎駅北口では、駅構内及び既存の公衆トイレをご利用いただくことで、新たな公衆トイレの設置は必要ないと考えております。

**野中 芳子 議員**  
野中 加須駅南口と花崎駅北口の公衆トイレの設置は以前から市民の要望があります。さらに加須駅南口はバスの発着、中継点であり病院誘致計画も進行中ですので、検討状況についてお伺いします。併せて、柳生駅は、通勤通学時に歩行者と送迎車が危険な状況との声があります。渡良瀬遊水地玄関口駅でもあることから、ロータリー整備等今後の予定についてお伺いします。

**建設部長 加須駅北口、花崎駅南口の駅前広場及び駅構内にトイレが設置されていること、また公共交通バ**  
リアフリー化事業により、駅構内の身障者対応型トイレやエレベーターなどを整備したことで、駅前広場の南北間の移動が容易になり、トイレの利用に関しても環境が改善されたことから、新たな公衆トイレの設置が必要な状況ではないと考えております。

**北川辺総合支所長 柳生駅前**に市が所有する土地はなく、市による駅前整備の余地がないことから、今後東武鉄道と連携しながら市民の皆様が安全に利用していただけるよう、可能な対応をしていきたいと考えております。

## 企業誘致

### 北大桑・川端地区の土地利用構想についての考えは

答弁: 企業誘致がしやすい地域であると判断し、工業・産業系ゾーンに位置付けております。

**齋藤 和雄 議員**  
齋藤 北大桑・川端地区の開発については地権者全員が同意をしており、早期に事業開始を望んでおります。今議会で総合振興計画基本構想の見直しの承認が提案されておりますが、当地区の土地利用構想についての考え方を伺います。

**総合政策部長 現在の総合振興計画基本構想の計画期間は平成23年度からの10年間として進めておりますが、社会経済状況の変化や圏央道が県内全線で開通したこと、また、地域住民の皆様からの請願があり、議**  
会にて採択されていること等も踏まえ、本市の地域特性を活かした秩序ある整備と発展を推進するため、土地利用の方針について見直しを行いました。

市全体の土地利用のバランスや、各地域の現況について十分に検討を行った結果、北大桑・川端地区も含まれた東北自動車道加須インターチェンジに近接する国道125号沿線地域については、広域交通網へのアクセスが良く、今後その立地特性を活かした企業誘致がしやすい地域であると判断し、工業・産業系ゾーンに位置付けております。

## スポーツ観光

### スポーツイベントを対象とした会員制の導入を

答弁: スポーツイベントを対象とした会員制の導入については、十分研究してまいりたいと考えております。

**池田 年美 議員**  
池田 毎年、様々なスポーツイベントが開催されていますが、短期間で終了してしまつては、経済効果は限られるものになります。今後スポーツ観光の活性化を推進するために、スポーツイベントを対象とした会員制の導入を行い、何度も本市を訪れることで、継続的な関係を作ることについての考えをお伺いします。

**生涯学習部長 本市では様々なスポーツイベントが開催されており、毎回継続して参加している選手もおります。このような選手のリピーターを増やすことで、本市の魅力を発信していただければ、さらに本市を訪れる人々が増えることも期待されますので、スポーツイベントを対象とした会員制の導入につきまして、今後研究してまいりたいと存じます。**

**市長 本市では全国から参加できる競技を開催し、多くの選手や観客が訪れていただけます。こうした方々が開催場所以外の地域にも立ち寄っていただけるような方策を考えると、これは大変重要であると思っております。具体的な方策については十分研究させていただきます。まいりたいと考えております。**

## 暑さ対策

### 体育館における熱中症計の設置の現状と考えは

答弁: 学校の現状を踏まえながら、検討してまいりたいと考えております。

**中條 恵子 議員**  
中條 近年の暑さが尋常でないことは、皆さんが全身で感じていることだと思います。教育施設においてはさまざまな暑さ対策を実施していますが、体育館での授業や部活動など、特に熱中症に注意する必要があります。熱中症の原因は、気温だけではなく、湿度や風通しなども大きくかわっています。そのため、気温と湿度とともに、熱中症の警戒度をあらわす暑さ指数を計測・表示する熱中症計を配置する学校が増えていますが、本市の配置の現状と考えをお伺いします。

**生涯学習部長 体育館に熱中症計を設置している学校が4校、携帯式の熱中症計の利用が5校、温度計や湿度計の設置が6校あり、市内小・中学校の半分に当たる15校において、熱中症計等による対策を講じております。**

**体育館への熱中症計の設置は、熱中症対策を実施する上での状況確認手段の一つであり、児童・生徒をはじめ、夜間や休日等における学校開放事業の利用者に対する熱中症対策にもつながることから、学校の現状を踏まえながら検討してまいりたいと考えております。**

## 都市農業の振興

### 農業の担い手の育成及び農業者に対する技術や知識の普及・指導への取組みは

答弁: 青年農業者組織間の連携事業を支援するとともに、各種の助成事業を活用しながら農業を振興してまいりたいと考えております。

**小林 信雄 議員**  
小林 農業は、営農者の高齢化などに伴う農家戸数及び農業従事者の減少、担い手不足による耕作放棄地や不作付地の拡大が進んでいます。農業で安定した所得を得るためには、1戸当たりの規模の拡大、知識の向上が必要であると考えます。

**本市における若手への支援、農業技術等の取得に向けた研修及び新規就農者への就農準備支援についてお伺いします。**

**経済部長 農業が地域の基幹産業として持続、発展するためには、青年農業者組織の活動を活発にすることが重要と考え、自己啓発を促進することなどを目的とした4地域青年農業者組織の連携事業を支援しております。**

**また、農業経営のノウハウを習得できる「市民農業塾」の開講のほか、市内の農業者の下での研修や埼玉県農業大が実施する研修を受講した場合に「就農研修奨励金」を受け入れ農家等には「就農研修謝金」を給付しております。今後とも、担い手農業者の育成を支援するとともに、各種の助成事業を活用しながら農業を振興してまいりたいと考えております。**

## 水害時の広域避難

### 水害時の要援護者の避難について

答弁: 広域避難の計画をできるだけ早く練っていききたいと考えております。

**及川 和子 議員**  
及川 北川辺地域の避難行動要援護者名簿の登録者数は1202人です。この中で付き添いのいる方や車の運転ができる方などを除いた方たちを広域に避難させるために、防災計画では、コミュニティバス、保育所等の送迎バスなどを使用することになっております。円滑に移送するために、拠点避難所ごとに名簿と人数を把握して、移送のシミュレーションを行い、準備をすることが必要と考えますが、要援護者を広域に避難させる移送についてお伺いします。

**市長 災害時要援護者に対する支援は、全ての地域で同じような対応が必要であると考えております。特に北川辺地域では地理的特性から広域避難は特に重要であり、板倉町や栃木市等と広域避難について事務的な協議も具体的に進めております。可能になれば移送に係る時間も短時間で済むと想定できます。避難に当たった際の移送について、具体的なシミュレーションまでできておりません。広域避難も特にここ数年の間に出てきた考え方で、できるだけ早くその計画を練っていききたいと考えております。**

## 高齢者支援

### 認知症高齢者の見守りについての取組みは

答弁: 行方不明者早期発見事業などの普及に努めるとともに、地域で認知症の方を見守る体制づくりに取り組んでまいります。

**小林 利一 議員**  
小林 最近、防災行政無線で認知症による行方不明となった高齢者の方を探す放送を聞くことが多くなりました。防災行政無線による行方不明となった高齢者の発見依頼放送は年間どのくらいあるのでしょうか。

**また、今後高齢化が進む中で、認知症高齢者の見守りの取組みについてお伺いします。**

**福祉部長 認知症の症状の一つである徘徊行動と見られる65歳以上の行方不明者への防災行政無線による捜索依頼数は増えており、平成27年度は17件、28年度は8月末ですでに12件となっております。こうした中、加須市高齢者支援計画において、基本目標の柱の一つとして新たに認知症対策事業の推進を加え、重点的に取り組んでおります。**

**具体的には、行方不明者早期発見事業のため「徘徊高齢者等位置検索サービス」、「徘徊高齢者早期発見ステッカーの配付」などを行っております。**

**今後は、これらの事業のさらなる普及啓発に努めるとともに、引き続き地域で認知症の方を見守る体制づくりに取り組んでまいります。**

## スポーツ施設整備

### 全国女子野球会場の市民運動公園 野球場の改修及び周辺整備は

答弁: 加須市民運動公園野球場再整備基本計画に基づき、より高いレベルの大会会場として通用する野球場に再整備いたします。

鈴木 久才 議員  
鈴木 本市は女子野球の甲子園といわれる大会の会場地として定着し、9回も全国大会が開かれています。しかしながら、女子選手のトイレに対する評判は悪く、特に野外トイレは暗くて怖い、臭くて汚い、また球場内トイレについても最悪ということでした。さらに、硬式野球場はネットが低い、観客席が少ないとの声もあり、全国大会会場にふさわしい野球場整備をすべきと考えますが、加須市民運動公園野球場の改修及び周辺整備について、考えをお伺いします。

生涯学習部長 加須市民運動公園野球場は建設から40年以上が経過し、管理棟の老朽化やトイレなどの設備不足等の課題から、平成27年度に加須市民運動公園野球場再整備基本計画を策定いたしました。観客席の拡張や防球ネットの設置、トイレの増設など施設整備の充実を図り、女子硬式野球的の全国大会会場のほか、スポーツ少年団、中学生の硬式野球などでも、より高いレベルの大会会場として通用する野球場に再整備するもので、今年度は実施設計を進めているところでございます。

## 障がい者福祉

### 障がい者差別解消に向けての取組みは

答弁: 障がい者への偏見や差別をなくすための啓発活動にさらに取り組むとともに、障がい者支援につきましては適切に対応してまいりたいと考えております。

佐伯 由恵 議員  
佐伯 相模原市の障がい者施設における殺傷事件は社会に深い悲しみと憤りを広げています。この事件を絶対に許してはなりません。今年4月、障害者差別解消法が成立しました。市は、職員が障がい者に対し不当な差別を行わないよう、対応要領を策定することになっていきます。障がい者や関係者の意見を反映し策定していただきたいと思えます。また、市内には入所希望者が24人待機しています。県は入所施設の整備を促進しており、県の方針に沿った整備を提案いたしますが、考えをお伺いします。

福祉部長 対応要領の策定につきましては、国・県の対応要領を参考にしつつ障がい者団体等から意見を聞き、できるだけ早期に整備したいと考えております。  
市長 相模原市の事件は許しがたい痛ましい事件でありました。障がい者への偏見や差別は残念ながらまだまだ社会に存在しておりますので、地域社会への啓発活動がさらに重要であると考えております。障がい者支援につきましては、国の制度の基本に立ち、国や県の方針を踏まえつつ、市としてどこまでできるかを念頭に置きながら、適切に対応してまいりたいと考えております。

## 基幹排水路整備

### 基幹排水路である稲荷木落排水路及び 十王堀排水路の整備についての考えは

答弁: できるだけ早く整備されるように改めて国・県に要望活動をしていきたいと考えております。

松本 英子 議員  
松本 稲荷木落排水路は、県の農地防災事業として現在、整備が進められておりますが、安定した農業を営むため、また、市内の湛水被害を解消するためにも整備が急がれています。大利根地域にとつて、十王堀排水路を含めた基幹排水路の整備は、最優先課題です。この事業が遅れているということは大変憂慮すべき問題です。予算化をして事業を進めていただくために国・県へ強く申し入れをしていただきたいと思います。考えておりますが、考えをお伺いします。

市長 稲荷木落排水路と十王堀排水路につきまして、大利根地域における主要な基幹排水路であるということについては、全く同じ見解であり、できるだけ早く完成させるといっても同感でございます。しかしながら現在、国の予算が大幅に減り、事業進捗も倍く短い期間を要することになっております。今後、全国的に予算確保が難しい状況を十分踏まえて、できるだけ早く整備されるように改めて国・県に要望活動をしていきたいと考えております。

## 市役所力向上

### 人材育成への取組みは

答弁: 行政経営プランに基づき人材の育成・確保をするため、各取組み項目における目標値等を目指し取り組んでおります。

柿沼 秀雄 議員  
柿沼 加須市行政経営プランの中の「市役所力の向上」の視点から市民の役に立つ人材育成の確保があります。職員の人材育成は非常に大切であり、将来の加須市行政を担う人たちを作らなければ、行政運営は衰退してしまいます。将来を見据えた職員教育をすることが重要であると考えますが、その取組みについてお伺いします。

総務部長 具体的な取組み例としては、まず、職場・課単位で改善目標を立て、意見や知恵を出し合って改善する「一課一改善運動」の実施や、事務効率・市民サービスの向上のための提案を募る職員提案制度の活用などの「意識改革の推進」があります。また、職員能力開発基本方針と研修計画に基づく体系的、計画的な研修の推進などの「職員の能力開発」、さらに、優れた能力・資質を有する人材の確保や衛生管理の推進などによる「人材の確保」があります。  
市民の役に立つ人材の育成・確保をするため、行政経営プランの各取組み項目における目標値等を目指し取り組んでおります。

## 第3回定例会 会期日程

9. 1 (木)	本会議
9. 8 (木)	本会議
9. 9 (金)	本会議 (一般質問)
9. 12 (月)	本会議 (一般質問)
9. 13 (火)	本会議 (一般質問)
9. 14 (水)	本会議 (一般質問)
9. 15 (木)	常任委員会
9. 20 (火)	決算特別委員会
9. 21 (水)	決算特別委員会
9. 23 (金)	決算特別委員会
9. 26 (月)	決算特別委員会
9. 28 (水)	決算特別委員会
10. 3 (月)	本会議



## 介護保険事業

### 介護保険制度改正についての考えは

答弁: 国にその都度、本市の状況を踏まえた意見を申し述べていきたい。本市の高齢者が適切に介護保険サービスを利用できるようこれからも努力を積み重ねてまいりたいと考えております。

小坂 徳蔵 議員

小坂 厚生労働省の社会保険審議会介護保険部会で、介護保険第7期事業の制度改正が論議されており、部会の中で、要介護1及び2の訪問介護と通所介護の介護保険外しが検討されています。すでに要支援1及び2は来年4月以降介護給付から切り離されて、市が実施する総合事業に移されます。保険料を払って、介護保険を利用できるのは、要介護者の3割台となります。制度改正による介護外しと負担増は問題があり、地方から声を上げていくことが強く求められると思います。考えをお伺いします。

市長 増え続ける高齢者の方を、介護保険という形でサービスの支援をどのように適切に行うかが課題であります。制度改正案の内容が少しずつ明らかになってきておりますので、その都度適切に本市の状況を踏まえた意見を申し述べていきたいと考えております。本市の高齢者が介護保険サービスを適時適切に利用できる体制になれるよう、これからも努力を積み重ねてまいりたいと考えております。

### 議案等に対する討論

本会議において、採決の前に、議案等に対する討論が行われました。その一部を掲載いたします。

#### 平成27年度一般会計決算認定

##### 反対討論

平成27年度は子ども子育て支援新制度が始まり、社会保障にかかわる特別会計に対する繰り出しを措置、学校の大規模改修や総合支所の耐震改修などが行われました。しかし、市政を市民の立場から全般的に分析すると容認できない基本的な問題があります。

まず、学校にエアコンが設置されていないことや震災の災害から市民の安全を守る施策である木

##### 賛成討論

本市の財政運営方針であります収支の均衡、債務残高の圧縮、将来への備え、これらの3つ全てがしっかりと守られており、財政の健全性が確実に保たれており、高く評価するものであります。

まず、大利根東小学校の大規模改修工事にあわせて、学童保育たなばた室の改修工事の実施や保育環境の整備を行うなど、子どもを産み育てやすいまちづくりの実現に向け

造住宅耐震化補助が県内において最低水準であることなど、市政に重大な立ち遅れがあります。

さらにマイナンバー制度導入における情報セキュリティの問題、身の丈を超える開発事業及び同和事業等改善を強く求め、本案に反対するものです。

努力されております。また、観光事業の向上・発展を期するために「加須市観光協会観光案内所」を設置、さらに消防団消防ポンプ自動車の計画的な更新及び拠点避難所の装備品や避難者支援用の備蓄を計画的に進め、市民の生命と財産を守る取り組みの強化が図られたことなど、未来につながる加須市づくりに大きく、そして、確実に歩みを進めたものと高く評価できることから本案に賛成するものです。



大利根東学童保育たなばた室

## 平成28年第3回定例会 議案等の審議結果

○賛成、×反対

議案番号等	議案名等	会派名等						議決結果
		新政会 (8人)	創政会 (9人)	民進党 (2人)	公明党 (4人)	日本 共産党 (4人)	無所属 (1人)	
66	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度加須市一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	承認
67	平成28年度加須市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
68	平成28年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
69	平成28年度加須市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
70	加須市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
71	加須市議会議員又は加須市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
72	栃木市との公共施設の相互利用の実施に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
73	加須市文化・学習センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
74	加須市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	可決
75	加須市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
76	工事請負契約の締結について(加須市騎西総合支所庁舎改修工事)	○	○	○	○	○	○	可決
77	工事請負契約の締結について(加須市騎西総合支所庁舎改修機械設備工事)	○	○	○	○	○	○	可決
78	加須市総合振興計画基本構想の改訂について	○	○	○	○	○	○	可決
79	平成27年度加須市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
80	平成27年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
81	平成27年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
82	平成27年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
83	平成27年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
84	平成27年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
85	平成27年度加須市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
86	平成27年度加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
87	平成27年度加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定

議案番号等	議案名等	党派名等						議決結果	
		新国会 (8人)	創政会 (9人)	民進党 (2人)	公明党 (4人)	日本 共産党 (4人)	無所属 (1人)		
市長 提出 議案	88	平成27年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	89	平成27年度加須都市計画事業栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	90	平成27年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
	91	平成27年度加須市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	原案可決及び認定
	92	平成27年度加須市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	原案可決及び認定
請願	2	「所得税法第56条の廃止」を求める請願	×	×	○	×	○	×	不採択

## 議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、所管事務調査として、10月11日(火)から13日(木)の日程で議会改革の先進地である京都府亀岡市議会と三重県四日市市議会を視察し、両市議会の議会改革の様々な取り組みについて活発な意見交換をしてきました。

なお、加須市議会では現在議員10名により構成された議会改革検討委員会を設置し、市民に開かれた議会運営に取り組んでいます。



埼玉県議会に関する情報番組

### 「こんにちは県議会です」

日曜日・午前10時～10時15分

テレビ埼玉にて放送中！

※詳細は県議会ホームページをご覧ください。



## 議会傍聴のご案内

市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、本会議や常任委員会・特別委員会を傍聴することが出来ます。ぜひ傍聴にお越しください。

### 【本会議を傍聴される場合】

当日、市役所本庁舎5階の議場傍聴席入口前の傍聴人受付簿に住所・氏名をご記入いただき、備え付けの傍聴受付箱に投函の上、傍聴券を1枚お取りになつて傍聴席にお入りください。

### 【委員会を傍聴される場合】

当日、市役所本庁舎4階の議会事務局前の傍聴人受付簿に住所・氏名をご記入いただき、備え付けの傍聴受付箱に投函の上、傍聴券を1枚お取りになつて各委員会の傍聴席にお入りください。

※傍聴券については、お帰りの際にお返しください。



# 委員会の審議内容

各常任委員会は、9月15日、付託された特別会計決算等の18案件（総務常任委員会3議案1請願、民生教育常任委員会6議案、産業建設常任委員会8議案）について審査を行いました。

また、決算特別委員会（各会派から選出された委員で構成）は、9月20日、21日、23日、26日及び28日の5日間で一般会計決算認定について慎重に審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

## 総務常任委員会

1 議案 可決  
2 議案 可決  
1 請願 不採扱

委員長 裕 小坂  
副委員長 恵子 中條  
委員 美則 田年 好一 裕一 真子 英子 徳子 松本 小坂

### 《一般会計補正予算(第3号)》

#### ・公共施設等再整備基金事業

問 3億円積立後の基金残高は。

答 公共施設等再整備基金の残高は、23億768万3000円になる見込みです。

#### ・予防接種事業

問 B型肝炎予防接種の見込人数及び1回当たりの委託料単価は。

答 接種のべ回数1668回、751人を見込み、診療報酬を基に初診料、注射手技料、生物学的製剤、ワクチン代及び事務手数料等を積算し、1回当たり7726円の委託料を設定したものです。

#### ・担い手育成支援事業

問 産地パワーアップ事業費補助金の交付を予定している営農集団の経営規模は。

答 大曾営農集団は、平成6年に設立された農業生産団体であり、約28ヘクタールの米

の作付のほか、作業受託と飼料用米作付と合わせて、合計約70ヘクタールの作業を行っている営農集団です。

### 《加須市総合振興計画基本構想の改訂について》

問 土地利用構想の主な見直し内容は。

答 首都圏中央連絡自動車道にアクセスが良い加須インターチェンジ周辺を農業共生ゾーンから工業・産業系ゾーンに変更するものであり、主なものとしては、加須インターチェンジに隣接した加須インターチェンジ東地区産業団地や国道125号栗橋大利根バイパス周辺を工業・産業系ゾーンに指定するものです。

また、南大桑の谷那地区については、土地利用の実態等の現状を踏まえ検討した結果、工業・産業系ゾーンから農業共生ゾーンに変更するものです。

## 民生教育常任委員会

1 議案 可決  
5 議案 認定

委員長 雄 柿沼  
副委員長 史 斉藤  
委員 清心 大内 和子 利一 正夫 雄一 健一 吉田 健一 吉田 健一 吉田 健一

### 《加須市文化・学習センター条例の一部を改正する条例》

問 騎西文化・学習センターにおいて、多目的室2の利用者が多いということで、利用者に対する説明は。

答 区分貸しが全面貸しになることについて、利用申請時にその都度、団体の方などに説明し、利便性が損なわれることのないようにしていきます。

### 《国民健康保険事業決算認定》

問 特定保健指導対象者が695人のうち、指導を受けた者が193人と少ないが、指導内容は。

答 医療機関への受診勧奨、指導、面接等を行っているが、保健指導を受ける者が増えない状況にあります。重要な事業のため周知を図っていきます。

### 《国民健康保険直営診療所決算認定》

問 診療所の市債の償還は、何年までか。

答 平成29年度末で完済の予定です。

### 《介護保険事業決算認定》

問 保険料の収納率が上がった理由は。

答 臨宅徴収等を行っていますが、納付している人との公平性のため、少しでも多く納付していただけるよう、今後も努力していきます。

### 《河野博士育英事業決算認定》

問 対象となった43人は希望者全員なのか。また、申込者は何人か。

答 平成27年度は43人中、高校1年生12人、2年生1人の計13人を新規に採用しており、この年は応募者全員を対象としています。

## 産業建設常任委員会

1 議案 可決  
7 議案 認定等

委員長 小林信雄  
副委員長 藤和雄  
委員 齋藤勝義  
鎌田肇夫  
栗原中良  
田伯由恵  
佐森本才  
鈴木久正  
鈴木正行

《加須市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例》

問 農業委員と農地利用最適化推進委員の業務分担は、

答 農業委員の業務は主に権利移動や転用許可等の決定行為で、農地利用最適化推進委員は農地パトロール、利用状況の調査、遊休農地の発生防止など現場活動を主にを行います。

《農業集落排水事業決算認定》

問 加入促進の方法と加入率の目標値は、

答 戸別訪問を中心に、現在の72・6％から76・9％への向上を目指します。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定》

問 使用収益開始面積と割合は、

答 13万4618平方メートルで、全体の32・2％です。

《加須都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業決算認定》

問 市費の総投入額は、

答 48億971万1000円です。

## 決算特別委員会

1 議案 認定

委員長 竹内政雄  
副委員長 田健一  
委員 吉田正則  
金子年美  
池田好一  
新井徳真  
小坂裕真  
小勝裕

一般会計決算認定について、

9月20日・21日・23日に内容の審査、26日に現地調査及び28日に総括質疑を行いました。

問 市税及び国民健康保険税の差押件数及び換価充当額は、

答 市税及び国民健康保険税を合わせた差押件数は、764件で、換価充当額は1億437万7321円となり、平成26年度と比較して、件数で43件、金額で1383万8941円の増となりました。

問 「浮野の里」自然環境保全事業に関し、天候不順のためヨシ焼きが実施できなかったことによる植物に対する影響は、

答 ノウルシなどの植物に対する大きな影響はなく、また、過去に実施できなかった時も同様に影響はありませんでした。

問 公立放課後児童健全育成事業に関し、定員を超えている健全育成室は、

答 平成28年3月1日現在、16施設のうち8施設が定員を超えている状況です。

問 実践型地域雇用創造事業に関し、いちじくを活用した新商品は実用段階に入っているのか。

答 4種類の新商品に興味を示した企業や農家があり、今後実用化に向け進んでいく段階です。

問 公立放課後児童健全育成事業に関し、定員を超えている健全育成室は、

答 平成28年3月1日現在、16施設のうち8施設が定員を超えている状況です。

問 実践型地域雇用創造事業に関し、いちじくを活用した新商品は実用段階に入っているのか。

答 4種類の新商品に興味を示した企業や農家があり、今後実用化に向け進んでいく段階です。

問 溢水時緊急対策事業に関し、水防協力員の活動内容は、

答 集中豪雨や台風等で道路冠水が発生した際、市職員が到達する前にいち早くバリケードで閉鎖したり、農業用の堰を解放することなどが主な活動内容です。

### 【現地調査実施箇所】

- ・北川辺総合支所耐震対策事業（北川辺総合支所）
- ・小学校施設整備・公立放課後児童健全育成事業（大利根東小学校・大利根東児童保育たなばた室）
- ・水路維持管理事業（琴寄地区）
- ・スポーツ施設整備事業（南篠崎体育館・加須市民体育館）
- ・溢水対策整備事業（礼羽地区）



電動化された第2雨水幹線水路鋼製堰（礼羽地区）

決算特別委員会現地調査



クライミングウォール（加須市民体育館）

## 議員活動紹介

—こんな事業に参加しました—



埼玉東部消防組合加須消防署北川辺分署  
耐震補強・改築工事完了のお披露目式  
8月4日(木) 加須消防署北川分署において



第24回「治水の日」継承式典  
9月16日(金) 大利根文化・学習センター  
「アスタホール」において



第4回渡良瀬遊水地まつり in KAZO  
9月18日(日) 渡良瀬遊水地において



第36回加須地域市民まつり  
10月16日(日) 交通安全パレード

### 編集後記

リオオリンピック・パラリンピックで盛り上がった夏が過ぎ、日本が世界に誇れる四季の晩秋を迎えました。

小春日和と澄んだ冷たい空気で星空の大パノラマと紅葉の深まりが一段と素晴らしい季節でもあります。また、寒暖差が激しくなりますので、体調管理には、十分お気を付けてください。

一方、実りの季節となり、今年も多くの恵を私達に与えてくれました。その感謝を込めた秋祭りや文化祭が盛大に各地で行われ、コミュニケーションを図りながら故郷への思いと絆を新たにしたい事と思います。

さて、9月議会では、平成27年度事業が適正に執行されたか厳しく審査し承認されました。今後も、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

(編集委員 森本寿子)

### あなたも議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴は、市政の方針等を知る良い機会です。

平成28年第4回定例会は、11月25日から行われる予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

(詳しくは13ページをご覧ください。)

### 市議会だより編集委員会

委員長	竹内政雄	副委員長	斉藤理史
委員	及川和子	小勝裕真	小林利一
	森本寿子	鈴木久才	金子正則